

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	肛囲の新生物	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Photodynamic therapy for residual neoplasms of the perianal skin	
	論文の日本語タイトル	肛囲に残存した新生物の PDT による治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ5-5	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID	10789745	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dis Colon Rectum	
	雑誌 ID		
	巻	43	
	号	4	
	ページ	499-502	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000, Apr	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Runfola, M. A.	Department of Surgical Oncology, Roswell Park Cancer Institute
その他著者 1		Weber, T. K.	
その他著者 2		Rodriguez-Bigas, M. A.	
その他著者 3		Dougherty, T. J.	
その他著者 4		Petrelli, N. J.	
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	肛門新生物における PDT の報告	
	研究デザイン	症例集積研究	
	セッティング	Department of Surgical Oncology, Roswell Park Cancer Institute	
	対象者	1名の肛門パジェット病、2名の有棘細胞癌、2名の Bowen 病	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （14）	
	介入（要因曝露）	レーザーを使用したフォトフィリンの全身投与による PDT	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	腫瘍の消失	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	主な結果	治療直後に紅斑、36-48 時間後に水疱形成し、72 時間後に脱落した。 5.2（1-8）年の経過観察中 2 例に再発した。1 例はパジェット病で 4 年後に再発した。1 例は Bowen 病の治療 9 カ月後に再発し、切除により良好な経過を得られている。4 例で治療後高度の疼痛がみられたが、モルヒネの静注で軽快した。	
	結論	手術後の残存腫瘍の治療に PDT は有用である	
	備考		
	レビューワー氏名	八田尚人	
レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ V ） 治療のしにくい状況での PDT 使用例。再発が 40%にみられた。		